

2018年8月26日、38度の酷暑の中、鎌倉の報国寺、妙本寺へ

2018年の夏は、何しろ世界的にみても超異常ともいえる高温状態が続いている。

梅雨明けが早く、その後観測ポイントでは40℃を超える日もあった。

クーラーでなくて自然の涼を求めるために高原地帯へ出かけるのも遠慮しがちになる。

「暑中お見舞い」から「処暑お見舞い」、更に今は「残暑お見舞い」へと挨拶文が変わるも一向に高温が収まらない。

そんな中、人出が予想される日曜日を敢えて選び、鎌倉の名刹をデッサンすべく、道具を入れたザック背負って出掛けた。

それは9時であった。

鎌倉駅は案の定、ごった返していた。

学生時代のワングル部夏合宿の下車後、炎天下歩いたことを思い出しながら、バスには乗らず、ひたすら歩いた。

でもこの酷暑のなかジョギングをしている人に出遭い、たいしたものだと感じた。

ペットボトル2本を準備し、熱中症に掛からぬように適宜水分補給して歩いた。

トイレに行く必要はない位に、補給した水分は汗となった。

日焼け止めクリームをたっぷり塗るも帰宅したら腕が赤くなっていた。

蚊に刺されないようにスプレーを上塗りしたのが効果を減らしたのかも知れない。

報国寺は竹林でも有名であり、200円を払い念のためデッサンしていいのかと尋ねたら断られてしまった。

中では、若い女性たちが浴衣姿で歩き、プロのカメラマンが我々歩行者を止めてまで撮影しているのではないか。

デッサンはなぜ駄目なのか敢えて訊かなかったが、プロのカメラマンはOKとは矛盾を感じた次第である。

そそくさと写真を撮り、以前に訪ねたことがある鎌倉駅近くにある妙本寺に向かった。

人力車に乗った観光客たちとすれ違ったが、周りの風景ともマッチし、なかなか佳い心地にしてくれるものだ。

妙本寺に着くと、妊婦姿の家族一組と老夫婦一組しか遇わなくて、賑やかな報国寺とは雲泥の差を感じた。

お握りを食べた後、13時過ぎから、木陰を見つけて、本堂の手前に脚立を置いてデッサンをし始めた。

それでも2時間ほど描いて、途中なるも切り上げて鎌倉駅へ戻った。

帰宅したのは17時半であった。

万歩計は15,000歩を示していた。

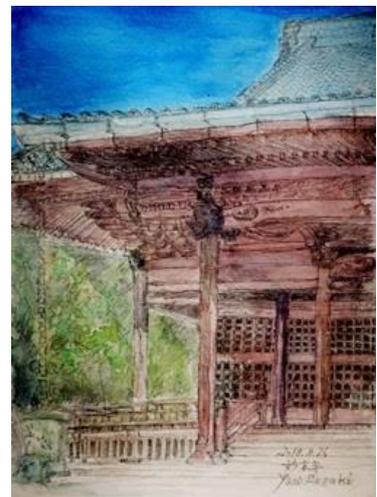
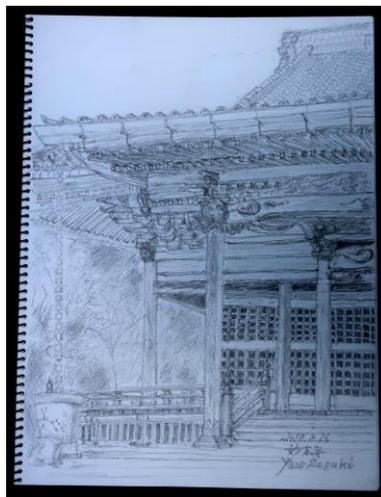
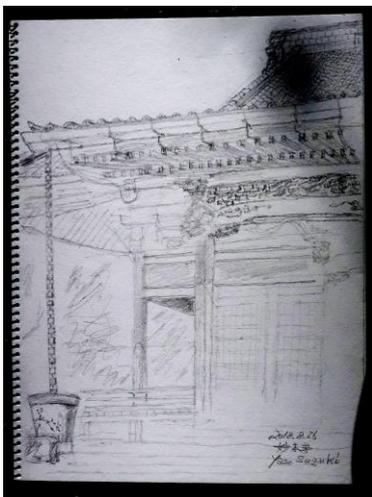




[鎌倉 報国寺](#) クリックすれば公式HPをご覧になれます



[鎌倉 妙本寺](#) クリックすれば公式HPをご覧になれます



炎天下でのデッサン → 自宅でデッサン加筆 → 自宅で彩色（一回目）